

10回記念！感謝を込めてお届けします！

会館寄席

目白亭愛狂

紫紺亭圓夢

琴音家甘魚

ゲスト

第十談

かがみもち
丸一仙三・仙花

数寄家邪頭丸

個性豊かな山梨落語研究会の面々&ゲストかがみもちが共演！

令和4年

9月10日

土

- 🌸 とき 開場13時30分 / 開演14時
- 🌸 ところ 甲府市総合市民会館 芸術ホール
- 🌸 木戸銭 無料 ・ 全席自由

お問合せ：甲府市総合市民会館 055-231-1951

会館寄席

第十談

出演者



数寄家邪頭丸 (すきやじゃずまる)

昭昭和47年、山梨市に生まれる。
東京農工大学の落語研究会に属していたが、その過去を隠しながら生活。
しかし元落研という事が圓夢師匠にばれてしまい、山梨落語研究会に参加。



琴音家甘魚 (ことねやかんぎょ)

生まれも育ちも山梨県。山梨落語研究会の紅一点！生粋の甲州弁スピーカー。
3年前から山梨落語研究会の追っかけを始め、寝ても覚めても落語のことで頭がいっぱい。
とうとう自分も高座に上がることに。落語は他のメンバーにお任せして私はイロモノの道を。
将来は山梨に演芸ホールを建てて席亭になるのが夢。趣味は寄席通いと着物集め。



紫紺亭圓夢 (しこんていえんむ)

明治大学落語研究会OB。山梨落語研究会代表。
学生時代は後輩である三宅裕司・立川志の輔らと全国の施設を慰問。長男【万年堂あにき】との親子会も好評。共同通信社発行の週刊誌・KyodoWeeklyに月1でコラムを連載中。



目白亭愛狂 (めじろていあいきょう)

学習院落語研究会OB。落研時代より人間国宝だった故柳家小さん師匠とその弟子達に指導を仰ぐ。三味線の端唄を愛し、落語のみならず三味線も披露。様々な会で好評を得ている。



かがみもち 太神楽曲芸協会(鏡味仙三郎一門)所属

約400年続く伝統芸能の太神楽を山梨を拠点に披露する丸一仙三・仙花の夫婦コンビ。
*丸一仙三 甲府市生まれ。国立劇場太神楽研修生(第二期)を経て鏡味仙三郎に入門。
妹弟子の丸一仙花と結婚し、かがみもちを結成。
また2020年には家内安全・商売繁盛・無病息災・疫病退散を祈念した「ヨゲンノトリ音頭」をリリース。
*丸一仙花 東京生まれ。国立劇場太神楽研修生(第三期)を経て鏡味仙三郎に入門。
趣味・特技は似顔絵・温泉巡り。



- | | |
|-----------|--------|
| 一、落語 | 数寄家邪頭丸 |
| 二、ピアニカ漫談 | 琴音家甘魚 |
| 三、落語 | 紫紺亭圓夢 |
| 一 仲 入 り 一 | |
| 四、粹曲 | 目白亭愛狂 |
| 五、太神楽 | かがみもち |
| 六、大喜利 | 司会・甘魚 |



山梨落語研究会のブログはこちら

山梨落語研究会 <http://blog.livedoor.jp/kangyo3319>